［別紙１］

計画に含まれる南極地域活動の一覧表

| 番　号 | 南極地域活動の区分 | 防止措置の番号 | 資金調達手段の番号 | 緊急時計画の番号 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

［記載要領］

１．「南極地域活動の区分」については、その内容を表現する適切な名称を記載すること。

２．「防止措置の番号」、「資金調達手段の番号」及び「緊急時計画の番号」については、その南極地域活動に対応する［別紙４］の防止措置の番号、［別紙５］の資金調達手段の番号及び様式第一の三の緊急時計画の番号を記載すること。

３．「備考」については、南極地域活動の区分に当たっての考え方等を必要に応じて記載すること。

４．南極地域活動の数に応じ、適宜欄を追加すること。

［別紙２］

南極地域活動の目的、時期、場所、実施方法等の総括表

| 南極地域活動の区分 | | 番　号 | |
|---|---|---|---|
| 目　的 | | | |
| 時　期 | | | |
| 場所及び自然環境の概況 | | | |
| 実施方法 | | | |
| 制限関連行為の有無 | | | |
| 行為者の人数及び氏名 | | | |
| その他 | | | |

［記載要領］

１．本様式は別紙１に記載した個々の南極地域活動ごとに作成すること。

２．「南極地域活動の区分」及び「番号」については、別紙１の南極地域活動の区分及び番号を記載すること。

３．「目的」については、計画に含まれる南極地域活動が複数ある場合には、計画全体の中で当該南極地域活動が分担する個別的かつ具体的な目的を記載すること。

４．「時期」については、当該南極地域活動の着手及び完了の予定日を記載すること。気象等の条件により着手及び完了の日の特定が困難な場合には、当該南極地域活動の実施が見込まれる期間の始期及び終期並びに当該南極地域活動に要する日数を記載すること。

５．「場所」については、当該南極地域活動の実施場所を経緯度及び地名等により記載すること。野外調査や輸送等については、出発点、目的地のほか移動経路の概要（主要中継点等）も記載すること。なお、気象、交通等の条件により、南極地域活動の場所や経路の変動が予想される場合には、想定される変動の範囲が明らかになるよう記載すること。また南極地域活動の場所又は経路の概要を示す案内図及び当該場所の詳細を示す位置図を添付すること。これらの添付図の縮尺は活動の内容及び範囲に応じて適宜選択すること。

「自然環境の概況」については、南極地域活動が行われる場所やその周辺地域における地形の概況、露岩地域、水系、植生、動物の繁殖地又は生息地等保護上留意すべき対象の有無及び当該南極地域活動とこれらの対象との位置関係について記述すること。またこれらの対象の位置については、できる限り上記の添付図に記載すること。

６．「実施方法」については、以下の例を参考にしつつ、当該南極地域活動の類型及び特性に応じて記載項目を選定し、各項目ごとに具体的に記載すること。なお、７の制限関連行為として記載される事項については、省略して差し支えないこと。